

R7年度 「心の絆プロジェクト」代表者 ミーティング まとめ

だれもがいきたくなる学校づくり
～心の居場所を目指して～

当日の流れ

1 開会

2 趣旨説明

「心の絆プロジェクト」代表者ミーティングについて

3 自己紹介

4 講演会

- ・「Nothing About Us Without Us」
- ・建設的対話
- ・「当事者」一緒に考える

5 グループワーク

- ・行きたい学校、行ってみたい学校
- ・学校に行けない、学校に行きたくない原因
- ・私たちにできること

6 閉会

講師・ファシリテーター
神戸女子大学
田中 裕一 教授



「Nothing About Us Without Us」とは？

- その人の気持ちは、聞いてみないとわからない！

その人の気持ちは、聞いてみてもわからないかもしれません。
しかし、相手に「聞く」ことが大切です。

- ヘルプマーク

外見からはわからなくても援助が必要な方が
身に付けるマーク

→裏面には、どのような援助が必要かが
記載してある



自分の本当の気持ちを言える環境ってどんな環境だろう？

●環境の大事なポイントは「**建設的対話**」(検索:合理的配慮)

→当事者(本人)と対話を重ね、共に解決策を検討していくプロセス

●その人に合った支援は、「**一緒に考えること**」が最も重要

一緒の中に「**当事者**」を
一緒に考えるときのポイントは
「**建設的対話**」

建設的対話ができる環境(雰囲気)が大切

グループワークで大切にしてほしいこと

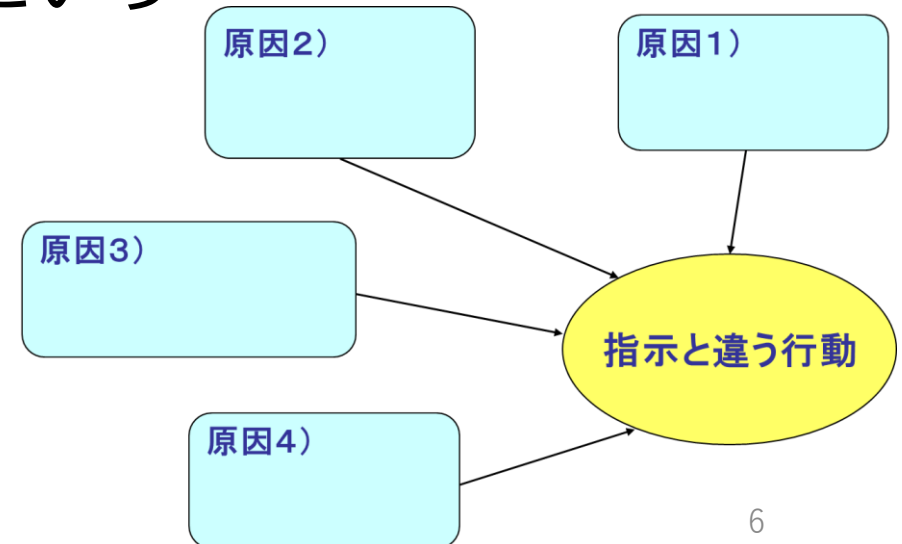
●「私が行きたい学校」って、どんな 学校だろう？

→行きたい学校、行ってみたい学校という視点から考える

●考えられる原因を一つあげて、支援方法を考えてみよう

→学校に行けない、学校に行きたくない原因という
視点から考える

- ・環境(雰囲気)づくりと建設的対話
- ・一緒に考えること





子どもたちの意見



感想①

～学校に行きたくない理由や原因について～

- ・行きたくない原因について今まで考えたことがなかったけど、今回のディスカッションを通して改善するために出来そうな事への考えが深まりました。
- ・学校に行きたくないという意見は同じでも、理由や原因は人それぞれで、解決策を考えるのはとても大変でしたが、たくさんの意見を聞くことが大事だと思いました。
- ・学校に行きたくない人はなぜ行きたくないのか、どうすれば、楽しく学校に行けるかなどのことをいろいろな視点から考えることができました。
- ・学校に行けない、行きにくい人の思いが改めてくわしくわかった。また、だれもががまんをしないというのはむずかしいということがわかった。



感想②

～人間関係や友達との関わりについて～

- ・人によって感じ方は違って来るし、誰かがずっと我慢し続けるというのはよくないので、意見を尊重し、否定せずに、しっかり聞くことが大切だと感じました。
- ・人間関係や友達との関わり方について、どのように関わっていけば「自分たちが行きたい」と思えるような学校づくりをしていけるのかを皆で考え、深めることができました。
- ・人間関係、友達と仲を深めるためにどうするかなどの考えが深まったと思います。
- ・友達との関わり方について、今までそんなに深く考えずに接していたけれど、このミーティングで色々な考え方を知りました。



感想③

～意見を共有することの大切さ(1)～

- ・いつも「～しない」だけで話し合いが終わっていたけれど、しないためにはどうすればいいのか、深く考えることができ、話し合いの仕方についても理解を深められました。
- ・一緒に考えるということがどれだけ人と人とのつながりに影響を与えているのかがよく分かった。
- ・人それぞれ考え方がちがい、色々な考え方を知り、より深く議題について考えることができた。いきたくなる学校にするには、こんなことを取り組んでみようなど、考えが深まってよかったと思います。
- ・自分達だけで考えるんじゃなく、全体の意見を聞いて、そういう考えもあるんだなと思えるようになった。建設的対話をしていこうと改めて思いました。



感想④

～意見を共有することの大切さ(2)～

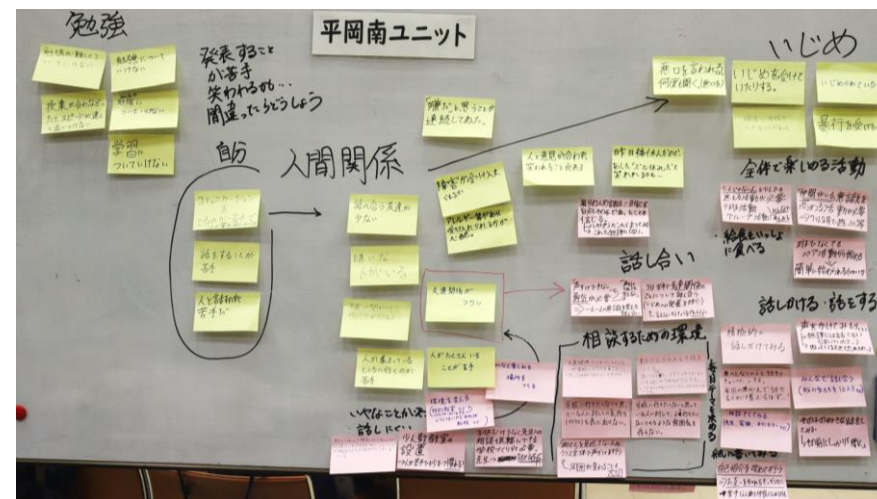
- ・私達だけで考え、決めるのではなく、「当事者」の考えも大切にすること学んだ。色々な視点から解決策を見つけ出すことも大切だと知った。
- ・自分が思っていたことを相手に共有し、相手の考えを聞き、初めて自分が他の意見を取り入れたから、新たな考えが分かった。
- ・私は人間関係についてあまり考えたことがなかったので、人間関係について考える機会になりました。
- ・いろんな人の意見を見るとやっぱり人それぞれ思うことがちがうのがわかりました。学校だけでなく、いろんな意見を出し合うことが大切だと思いました。



感想⑤

～学校づくりへの考え～

- ・それぞれに考えがあり、自分がこうだからといって相手の気持ちも考えずに行動するのは良くないと思いました。
- ・今までは、ただただ笑顔で優しくしてればいいと思っていたけれど、今日話を聞いて、具体的に考えることが大切だという点が深まりました。
- ・だれもがいきたくなる学校にするには、伝えあって関係を深めていくことが、大切だと分かった。
- ・具体的にみんなで考え、人間関係がうまくいかなかったらどうするかなど、深ぼりしていったため、より理解が深まったと思う。
- ・人間関係をよくするために、まず自分のことを伝える環境をつくることが大切だと思った。





私たちにできること





- ・生徒みんなの意見を聞いて取り入れ、他学年との交流の機会を増やす。

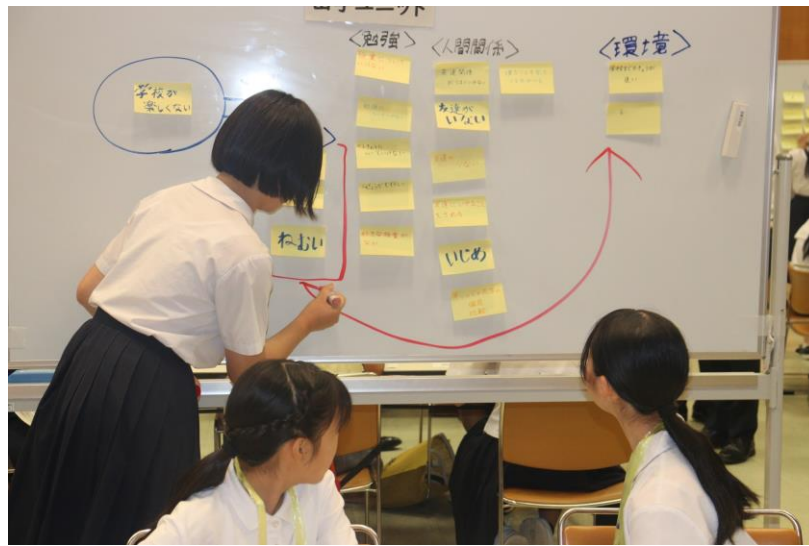
- ・クラス内の交流も大事だけど、縦割りの交流も増やす。

- ・みんな遊びやペア活動(他の学年と給食を食べたり、業間遊んだり、1日すごすという活動)する。

- ・全校で仲が深められる場をつくる。

- ・生徒会が呼びかけて、学校に行きたくない、行けない人を減らせるような活動に取り組んでいきたい。

- ・全校生徒が平等に楽しめて、明日も行きたいと思えるようなイベントや行事を考える。



交流の機会を増やしたり、学校に行きたいと思える行事を考えたい。



- どんな意見にも耳をかたむける。
- 一人一人が自分の考えを大切にして、誰もが行きやすい環境を作る。
- 自分の意見がえんりょなく言える学校にしていく。
- 相手の気持ちになって一緒に考えて行動する。
- 明るい雰囲気づくりをこころがける。
- 特定の人に特別な対応をせず、普段通り接する。
- 悩んでいる人が気軽に相談できる場をつくる。

一人一人の声を大切にしたり、相手の気持ちになって一緒に考えたり、相談しやすい環境をつくりたい。

当事者と一緒に考え、話しやすい環境になる
ような取組ができることを願っています。

そして、一人一人の意見を大切にすることで
「誰もがいきたくなる学校づくり」が一步で
も前進することを願っています。